

## 「佐賀県民の情報モラル育成のための 産官学民連携による地域的教育実践」

### Kodomo2.0 (佐賀県)

#### ねらい・目的

佐賀大学関係者や県内情報関連事業者をはじめ、社会教育や学校教育の分野で情報教育に携わってきた者(写真1)たちが、これまでに蓄積した知識や技術力を結集させたチームを組み、佐賀県におけるデジタルデバイトの解消と安全・安心なネット社会の実現をめざして、成人はもちろん、小・中・高校生や高齢者を含めたあらゆる年代を対象とした情報教育や情報モラル学習のサポート・情報化に関する啓発活動を行っている。これらの活動を通じて、県民の情報モラル意識の醸成を図っている。

#### 内容

##### ○ネットの安全安心ポスターコンクール事業

ネットの非匿名性を周知したり、携帯電話のルール作りを促したりするような「子どもとネット社会」について啓発するポスター作品を広く佐賀県内から募集し(チラシ6万枚を配布)、コンクール(資料1)を開催している。最優秀作品をポスター化、県内各所に配布・掲示して、県民のネットに関する意識醸成を図る。また優秀作品を集めた作品集を作成・配布して情報リテラシー教育教材とする。併せて、優秀作品を集めたポスター展を県内各所で行い、意識醸成の一助とする。佐賀県知事賞・佐賀県教育長賞・佐賀県警本部長賞・佐賀大学文化教育学部長賞・佐賀県PTA連合会長賞・STSサガテレビ賞・NHK佐賀放送局長賞・佐賀新聞社賞・県下20市町長賞など各団体からの後援・賞の提供を得て現在、作品募集中。

##### ○PTA・CSO支援組織とのコラボレーションによる家庭教育学級のインターネット配信事業

佐賀県教育委員会社会教育課や佐賀市内PTA

組織と協力して「ネット時代の親力養成講座」(資料2)と銘打って「ネットトラブルとその対策」「インターネットの特性とコミュニケーション」「なぜ誤解が生じるか」「擬似有害サイト体験」などの演習や講演を含む家庭教育学級を提供する。演習と講演会の一部を県内7か所にあるCSO支援オフィスとインターネット電話サービス中継で結び、県内全域の保護者への学習機会を提供した(写真2)。このことにより、佐賀県内全体への波及効果を狙う。

##### ○子どもとおとなが楽しみながら学習するドラマ教材の開発「Yokooh!劇場」

複雑なネット犯罪を小学生や中学生にもわかりやすく、また内容にも関心を持つよう聴衆参加型ドラマ教材を開発した。演目の主な流れは、素朴な少年YOKOOH君が、誤った認識でパソコンや携帯電話のインターネットを操作することでさまざまなトラブルに陥る。それを戒めるために、人形が厳しく指導し、解説者がわかりやすく場面を解説する。この際、パワーポイントを利用して、文字として起こすことで、視覚的にも大事なポイントを明確にして教育を行うといった流れである。基本的には、ネット犯罪が人間によってもたらされるものであり、被害を受けるのも人間であるという部分を浮き彫りにする。このためドラマの構成員の役柄には、極端な動作や発言をさせている。また細かな規則やマナーの指導内容は、ドラマの流れにそって子どもたちが納得できるよう工夫している。

##### ○携帯電話の有害コンテンツ擬似体験サイト開発

巷間、大きな被害をもたらしている携帯電話の有害サイトを疑似体験するためのコンテンツを構築した(写真3)。より本物に近づけるために実際にサーバを立てて、被験者がメールのやり取りを行い個人情報の奪取から不正請求にいたるまで



写真1・活動について話し合う定例会議

資料1・ネットの安心・安全ポスターコンクール作品募集チラシ

資料2・PTA・CSO支援組織とのコラボによる家庭教育学級のインターネット配信事業募集チラシ



平成20年度優良地域活性化事業「信州デジタル健康ポスターコンクール」

# 作品募集

「インターネットを正しく使いましょう」  
「親子で携帯電話の安全な使い方を考えよう」と  
呼びかけるポスターを募集します。

締切：平成20年11月30日（日）当日消印有効

募集部門：①小学生部門 ②中学生部門 ③一般部門（高校生以上）おとなと子どもで共同制作部門  
※応募は4枚（257mm×364mm）とし、縦横は自由。  
①～③の部門は、おとなと子どもで共同制作部門を除く。おとなと子どもで共同制作部門は、おとなと子どもで共同制作部門を除く。  
①～③の部門は、おとなと子どもで共同制作部門を除く。おとなと子どもで共同制作部門は、おとなと子どもで共同制作部門を除く。  
①～③の部門は、おとなと子どもで共同制作部門を除く。おとなと子どもで共同制作部門は、おとなと子どもで共同制作部門を除く。

## 第一回ネットの安全・安心ポスターコンクール

ネットトラブルに巻き込まれない子どもを育てるための実践講座

**参加無料 県内同時中継**

**ネット時代の親力養成講座**

もし、自分の子どもがネットトラブルに巻き込まれたら？  
どう対処したらいいの？どこに相談したらいいの？  
インターネットや携帯電話のトラブルが相次いで報告される現代社会、私たち保護者のITスキルは十分備わっていると考えるのでしょうか？ わたしは、あなたは、大丈夫？

単一講座だけの参加もOK

平成20年度協働提案型家庭教育講座受託事業

主 催：佐賀市立日新小学校PTA  
力：Kodomo2.0  
特約：さが市民活動サポートセンター  
協賛：CSO支援オフィス  
後 援：佐賀県教育委員会  
佐賀県PTA連合会

日 時：別表のとおり  
申込み：申込書ご記入して下記までFAXするか  
申込み内容e-mailでお知らせください  
問合せ：特約：さが市民活動サポートセンター  
TEL：080-3992-7939  
mail：nissin@kodomo2.0.net

申込み締切：各講座開催の3日前まで  
（ただし定員になり次第締切）

参加料：無料  
※参加は無料ですが、事前申込が必要です

■サテライト会場（CSO支援オフィス）※サテライト会場への参加申込みも「さが市民活動サポートセンター」へサテライト会場へのアクセス方法を参照してください

佐賀市立日新小学校PTA  
本講座は子どものネット活用を促す市民活動Kodomo2.0の  
定例的な取り組みとして企画されています。

「ネットトラブル：事例検証とその対策」  
10/16（木） 沼本優子 氏 佐賀コンピュータ専門学校  
17/19（土） スクエアPC/CSF 実業305 サテライト中継

「有害サイト疑似体験：何が危ないのか」  
11/12（木） 松田真喜 氏（株）トワーフクトリー  
20/19（土） スクエアPC/CSF 実業156 中継無し

「インターネットとメディアリテラシー」  
12/12（木） 藤田 壽 氏 佐賀大学文化教育学部准教授  
18/19（土） スクエアPC/CSF 実業506 サテライト中継

「YOKOOO!」 子どもととは、一緒に考えよう  
H21/12/18（日） Kodomo2.0開催

「ネットの特性とコミュニケーション」  
2/19（日） 角 和博 氏 佐賀大学文化教育学部教授  
H21/22/19（土） スクエアPC/CSF 実業006 サテライト中継

トさが（Kodomo2.0）  
全・安心ポスターコンクール事務局 江口嘉人  
3992-7939 E-mail info@kodomo2.0saga.net  
Kodomo2.0  
amo.2.0のWebページをご覧ください。http://kodomo2.0saga.net/



写真2・保護者を集めての講習

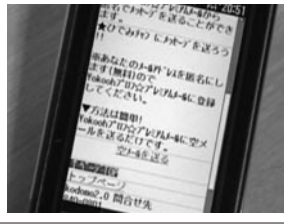


写真3・携帯電話有害コンテンツ疑似体験サイト

の巧妙な手口を再現した。現在「古いサイト」「プロフサイト」「芸能人ファンサイト」による個人情報流出と不正請求体験が可能。

○パソコンの疑似有害コンテンツ体験サイト開発  
小中学生や保護者の危険予知能力育成をめざし

てPC用のマルウェア体験サイトを構築した。各種講習会に利用して、ネット上の甘い誘いに乗らないこと自身の欲望を制御する態度などについて呼びかけている。

○母子寡婦福祉連合会との連携による講座

親子の連絡のために幼少期から子どもに携帯電話を持たせがちな母子家庭への支援を目的に佐賀県母子寡婦福祉連合会と提携して、佐賀県内3か所で、携帯電話やインターネットの使い方に関する家庭でのルール作りについてアドバイスを行うとともに、何が危険でどう対処するべきかについての「親子講座」を実施した。

#### ○佐賀新聞との連携による啓発活動

佐賀新聞社と提携し、Kodomo2.0のメンバーが、同新聞の論説欄を執筆担当し、5回に渡ってインターネットの安全な使用について著述予定。

#### ○ネットトラブルに関する相談事業

ネットや携帯トラブルに関して、専用携帯電話による相談窓口を設置している。

#### ○アンケート分析・調査研究事業

さまざまな機会を捉えて、ネットに関するアンケートを実施、分析研究を重ねている。

### 実践結果（今後の課題）

- ・各種講演や事業に参加しない・できない人々にいかにして情報を届けるか。
- ・いまだにインターネットや携帯の問題は、対岸の火事と考えている人々への対策。
- ・抱えている事業の割にスタッフの人数が不足しがち、また予算の確保が難しい。
- ・学校への働きかけ。
- ・ボランティア団体であるので、事業展開が公休日に集中しがちで、児童生徒への事業展開が図りにくい。
- ・中学生や高校生スタッフの確保。
- ・手薄になりがちな、WEBコンテンツの充実。
- ・ネット中継の効率的な運用手法の確立。

### PR（特徴・工夫・努力した点など）

- ・とにかく今何とかしなければという思いで、立ち上げた市民組織である。佐賀県内のさまざまな団体から参集し、それぞれの立場から、毎週

金曜日ネットの問題について議論し、議論を実践・行動に反映させている。

- ・今回取り組んでいる「ネットの安全安心ポスターコンクール」は、おとなと子ども（保護者と子ども）がネットの問題を共有し、話し合いながらポスターを制作する「おとなと子どもで共同制作部門」の設置など他に類を見ないユニークなコンクールとなっている。また、佐賀県内すべての市町からの後援と首長賞の提供を得るなど、全県下の事業展開を行っている。
- ・ドラマ教材「Yokoo! 劇場」については、何かと難しくなりがちなネットの問題をわかりやすく、幅広い年代に伝える教材として、受講者から好評を得ている。劇を視聴した後に、講義を行うと講義の内容が非常にわかりやすいという声が多い。現在も新作シナリオを製作中。
- ・我々が開発した携帯電話の「有害コンテンツ疑似体験サイト」については、専用サーバを立て、実際に携帯電話でアクセスすることにより本物と寸分たがわない経験ができる。リアルな体験を通じて児童生徒の危険予知能力の育成に貢献するものとする。パソコン用コンテンツについても本物のマルウェアを再現しており、安易にダウンロードしたり、コンテンツを閲覧したりする危険を知らせることができる。
- ・「PTA・CSO支援組織とのコラボレーションによる家庭教育学級のインターネット配信事業」においては、講座開催地から遠隔地域の保護者への情報提供のためにインターネット電話サービスを利用して中継を行った。その会場として県内CSO支援組織のオフィスを利用することにより、これまで交流の少なかったPTA組織と市民団体が出会うきっかけとなり、新たな協力体制ができあがった。

備考（実践の参考となる公開中のHPアドレス、写真、資料等）

Kodomo2.0ホームページ <http://kodomo2.0saga.net/>

Kodomo2.0ブログ <http://ameblog.jp/kodomo20-insaga/>

携帯電話用有害サイト疑似体験サイト <http://kodomo2.0saga.net/m/virtual/>